

平成 29 年度 美浦保育園の自己評価について

保育士等が保育の質の向上を図る目的で実施した自己評価を踏まえ、当園の保育の内容について園全体の評価として取りまとめたので公表致します。

自己評価の取り組みと目標

個々の保育実践の振り返りと自己評価の実施、新保育指針についての園内研修をもつ等、保育計画と保育実践の共通理解を図り、園全体での評価に繋げることで保育の質の向上に努めました。28年度から継続しているリトミックについては、園全体でのリトミック集会をもつことにより年少クラスも参加でき、子ども達の体づくりに成果がみられた。今年度は各行事の係分担について課題が上がり園全体で検討致しました。

今年度の評価点

- ・一人ひとりと密に関わり保育することができた
- ・季節の歌や手話ソング、体力づくりなど年少クラスから継続した取り組みができた。
- ・職員が協力し合い、行事を成功させることができた。

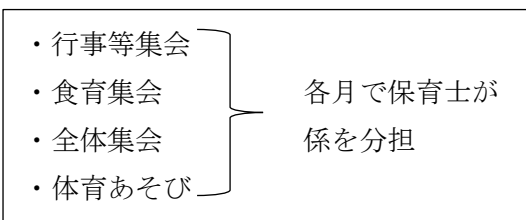
園全体評価

- ・毎朝のラジオ体操、お腹の体操、ロコモ体操を継続することで、体育の講師より園の子ども達の体幹や体のバランスができていたとの褒めの言葉があった。
- ・年少クラスと年長クラスのフロアに分かれていたので異年齢児交流をもっと取り入れたい
- ・行事等の計画についてねらいをきちんと立ててもう少し細かい打ち合わせが必要ではないか。
- ・各係の仕事や行事などねらいや目標を持つ。

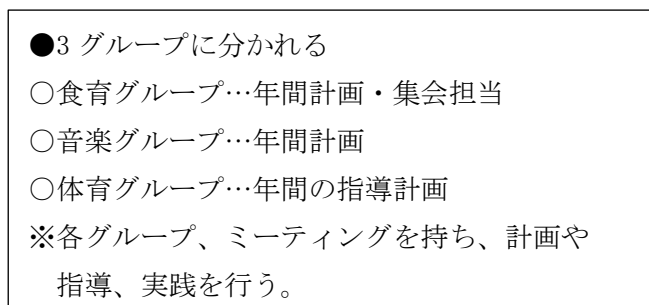
次年度の改善点

自己評価について職員間で話し合った中で、保育士が月で分担している行事や食育、体育、全体集会等が慣れてきて行事をこなしているように思われるので、目標やねらいをしっかりと立てて取り組んではどうかとの意見があり、今年度は食育、体育、音楽と3つのグループに分けて年間の計画を立て取り組むことになりました。

【29年度】 計画と実践



【30年度】 保育計画



総評

保育士自身の保育の振り返りから園全体への振り返りとなり、園全体で行事や集会等の見直しを図り、目標を見出すことができた。

30年度からは、上記のように各保育士が自分の得意な分野に分かれ、目標やねらいをしっかりと立て子ども達におろしていくことにより、職員が共通理解を深め保育の内容の充実につなげていきます。